

■ 株主メモ (2016年7月1日現在)

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月
配当金受領の株主確定日	12月31日及び中間配当を実施するときは6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社証券代行部 (フリーダイヤル)0120-288-324
公告方法	電子公告 http://sapporoholdings.jp/ ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。

株式事務に関するご案内

配当金の口座振込の制度をご存知ですか？

- 配当金を郵便局の窓口でお受け取りの場合
- 受け取り忘れのリスクがあります。
 - 郵便局へ行く手間がかかります。

- 配当金の振込指定の場合
- ご指定の口座に振り込まれるため、配当金のお支払い開始日に安全かつ確実に配当金のお受け取りができます。
- お手続きに関するお問い合わせ先
 - 証券会社に口座をお持ちの株主様は、お取引口座のある証券会社へお問い合わせください。
 - 特別口座に記録されている株主様は、みずほ信託銀行株式会社証券代行部へお問い合わせください。

特別口座からの振替のお手続きはお済みですか？

特別口座に記録された株式は、単元未満株式(100株に満たない株式)の買取・買増請求を除き、売買や譲渡等のお取引を行うことができません。特別口座に記録された株式の取引を行うためには、証券会社に取り引口座を開設していただくうえで、特別口座から証券取引口座に振替を行っていただく必要があります。特別口座から証券取引口座への振替をご希望の株主様は、みずほ信託銀行株式会社証券代行部へお問い合わせのうえ、お手続きをお願いします。



CM紹介

生のうまさにこだわり続ける黒ラベルだからこそ、常に目指すのは、「完璧」なうまさ。それは麦のうまみと爽やかな後味の完璧なバランス。味や香りを新鮮に保つクリーミーな泡。何杯飲んでも飲み飽きない、ビール好きの大人たちに愛されるビールへ。

「大人の☆生」をコミュニケーションテーマに掲げているサッポロ生ビール黒ラベルでは、「生のうまさ」に加えて「自分なりの価値観を持った大人同士が飲むビールである」という価値を訴求するため、「大人エレベーター」に乗り込んだ妻夫木聡さんがフロア数に応じた年齢の大人たちに出会い、サッポロ生ビール黒ラベルを味わいながら「大人」というテーマについて本音で語り合います。



数々の名曲を生み出した日本を代表する作曲家である

66歳 大人代表の松本隆さん



人気ロックバンド「サカナクション」の

35歳 大人代表の山口一郎さん

SAPPORO

9/24
オープン

GINZA PLACE

第93期 2016年1月1日から
2016年6月30日まで
中間期株主通信



発行者：サッポロホールディングス株式会社
〒150-8522 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番1号(恵比寿ガーデンプレイス内)

サッポロホールディングス株式会社



創業140周年を節目に、独自の「食品企業グループ」形成を目指します

サッポログループは本年創業140周年を迎えました。歴史を誇りとしながら、さらに創業150年を迎えるまでの10年で、これから世界の消費者が求める、明るく、楽しく、豊かな時間と場を提供し続ける、独自の「食品企業グループ」を形成していきたいと考えています。商品やサービスに限らず、オンリーワンを提供する取り組みを重ねることで、世界で評価され信頼される食品企業を目指していきます。

本年は、グループ創業140周年であるとともに、サッポロビール園開園から50周年、ワイン事業開始からは40周年。また、協働契約栽培および焼酎事業の開始に加え、スリーマン社がグループ企業となって10周年を迎えるなど、各所で節目となる年です。サッポログループが輝きを増す、飛躍の足掛かりとなる年にしていきますので、株主の皆様には、変わらぬご理解とご支援を賜りたくお願い申し上げます。

代表取締役社長 兼 グループ CEO 上條 賢

トップが語る！ 創業140周年の歩み

国内酒類事業 ① ビール事業

創業時代からの“開拓者精神”のもと常に新たな提案を継続する中、こだわりの「協働契約栽培」が10周年を迎えました。

創業事業であるビール事業では、140周年となる2016年を「ビール強化元年」と位置づけ、理想的な活動ができています。基幹ブランドの1つ「サッポロ生ビール黒ラベル」では、初のエクステンション商品「サッポロ生ビール黒ラベル エクストラブリュー」、そしてエビスビールでは、さらに磨きかけた最高峰の味わい「エビス マイスター」を新発売し、順調な動きを見せています。これまで業界に先駆けた提案をしてきた「サッポロ ドラフトワン」や「サッポロ 極ZERO」、トフホの「SAPPORO+（サッポロプラス）」なども含め、当社のDNAにある“開拓者精神”から生まれたものが、多くの消費者の皆様から支持を得てきたことは、とてもうれしく思っています。

その一方で、私が入社した40年前から当社は既に大麦やホップの育種に取り組んでおり、素材の根本からこだわった「協働契約栽培」は、“食の安全・安心”に対するサッポロビールならではのこだわりであり、さらなる発展のための大切な基盤でもあると自負しております。

国内酒類事業 ② ワイン事業・焼酎事業

創業100周年記念事業としてスタートしたワイン事業は、この40年間で、独自のワイン文化を日本に根付かせつつあります。

国産のワイン事業は、日本の食文化が変化しワインの需要拡大が期待される市場背景の中、創業100周年記念事業としてスタートしました。ワインに使用できる国産のぶどうがほとんどなかった状況から、今では日本各地で地域特性を活かしたぶどうが育ち、ワインづくりが広がってきました。国産ワインの評価も世界的に高まっており、大変喜ばしいことです。ワイン事業は、生のぶどうをそのままつぶしてお酒として仕込むため、産地の特性が際立ちます。繊細な仕上がりのぶどうが各地で着実に育っている現状から将来を展望すると、10年後には今よりさらに楽しんでいただけるワインが提供できるものと期待しています。

焼酎も事業開始から10年が経過します。現在、甲乙混和芋焼酎「こくいも」などジャンルトップの商品が育ってきており、今後、ビールやワインとは異なる酒の文化を提案する事業として、焼酎の事業拡大にも努めていきます。

国際事業

北米市場におけるアジア系ビールNo.1メーカーとして、スリーマンと共に次の成長を目指します。

国際事業は、1984年の米国現地法人設立を契機に事業展開を本格化しました。翌年の1985年から現在に至る約30

01	ごあいさつ
02	トップが語る! 創業140周年の歩み
05	サッポログループトピックス
11	株主コミュニケーション

13	サッポログループのCSR活動
15	サッポログループの研究開発
16	事業の概況/連結決算概要
17	会社情報/株式情報

グランポレール
安曇野池田ワイナード
メルロー 2014

グランポレール
安曇野池田ワイナード
ソーヴィニヨン・ブラン 2015



ワイン事業



飲料事業

「POKKA」ブランド
各商品(海外)



外食事業

銀座ライオン GINZA PLACE店



不動産事業

GINZA PLACE



年間、サッポロは米国市場においてアジア系ビールNo.1の座を維持し続けています。また、カナダ第3位のビールメーカー スリーマンは、買収後10年で売上高が1.5倍と順調な経営状況で推移してきています。短期的な成果を強く求める欧米の投資回収型のM&Aに対して、当社は「自分たちの本業としてスリーマンと共にビール事業に取り組む」という考え方で、長期的な目線をもって経営に当たってきました。本年5月にスリーマンの元オーナーに会った際にも、「これだけの成長を実現する経営の舵取りをしてくれて、感謝に堪えない」という言葉をいただきました。今後は次の成長に向け、新たな販路拡大と製造能力増強の計画を立案していきます。

また、アジアにおける展開では、ビールが国民酒のように根付いているベトナムに大きな可能性を認め、2011年に工場を設立し参入しました。昨今は景気減速も囁かれています。実際に現地を訪ねてみて、今も力強く成長を続けていることを各所で実感しました。若い世代が消費の主役になるベトナムにおいては、彼らが好む味やデザイン、値ごろ感などを吟味した新商品を発売し新たな一手を打っています。

食品・飲料事業

5年前のポッカコーポレーション統合から変革が加速、今後、食品・飲料事業に将来の成長のけん引役を期待しています。

ポッカサッポロフード&ビバレッジは、サッポロ飲料とポッカコーポレーションとの経営統合により設立した会社です。主な事業は“国内飲料”、“国内食品”、“海外飲料”ですが、そのうち“国内飲料”では、販路や品質管理体制、研究開発体制を共有したことで、商品力・技術力がかなり強化されてきていると感じています。“国内食品”では、「ポッカレモン」など「ポッカ」ブランドが切り拓いてきた確かな資産を受け継ぎました。“海外飲料”では、シンガポールにおける圧倒的な「POKKA」のブランド力を背景に順調な市場拡大が進んでいます。いずれもグループの将来の成長を担う役割を期待しています。

外食事業、不動産事業

外食事業は伝統の重みを背景に、不動産事業はビール事業から派生した貴重な資産を基礎に、新たな成長と発展を目指します。

外食事業では、「銀座ライオン」が銀座の街に新旧出揃い、新たな展開の時を迎えています。銀座七丁目店は、80年以上同じ建物でビヤホールを営み、旧銀座五丁目店は、「GINZA PLACE(銀座プレイス)」の地下1階、2階にGINZA PLACE店としてリニューアルオープンしました。伝統の重み、長期にわたるお客様からのご愛顧の重みをひしひしと感じながら、さらに時を積み重ね、「世界一のビヤホールチェーン」を目指したいと思えます。

不動産事業では、恵比寿工場の跡地に1994年に開業した「恵比寿ガーデンプレイス」がバブル崩壊後のいわばマイナスから立ち上がりました。厳しい経営状態の時もありましたが、今が最も安定的な収益力を発揮しています。その間、快適な生活空間の提供に腐心してきましたが、近年、恵比寿

が「住みたい街No.1(注)」という評価をいただいたことで、私どもの20年の苦労も報われた思いです。

「GINZA PLACE」が、不動産事業に加わりましたが、新たなランドマークとして、銀座の街のさらなる発展に寄与していきたいと考えています。(注)「2016年版 みんなが選んだ住みたい街ランキング 関東版」(リクルート住まいカンパニー)

株主の皆様へのメッセージ

サッポログループの今後の確かな成長にご期待ください。

これまでの20年間、日本経済は大きな変動期を経験し、当社グループも激しい環境変化の中で、ともすると経営成績が安定を欠くこともありました。しかし現在、各事業が収益力をつけてきたことで、サッポログループの業績は安定感を取り戻しております。今後の確かな成長にご期待ください。

株主の皆様、ならびにサッポログループの商品や施設等をご愛顧いただいておりますお客様の期待に応える経営を推し進めてまいりますので、引き続き、ご支援をお願い申し上げます。

「エビス」ブランド 新商品も加わり、さらに魅カアップ



エビス マイスター

エビスを知り尽くした50名超の技術者が結集して造り上げたエビスの最高峰

本年5月に通年新商品「エビス マイスター」を発売。エビスを知り尽くした技術者が結集して造り上げたエビスの最高峰。

うまみと薫りが豊潤なロイヤルリーフホップから生まれたふくよかな薫りと研ぎ澄まされたコクが特長です。

また、9月6日には琥珀エビス(缶)を期間限定で発売します。目指したのはこれまでの琥珀エビスを超える深いコク(注)。

コク深く、まろやかな味わいをお楽しみください。

(注)原麦汁エキス濃度の比較において

コク深く、まろやかに。琥珀エビスが進化。

琥珀エビス



「サッポロ 麦とホップ Platinum Clear (プラチナクリア)」 発売

「麦とホップ プラチナクリア」を5月に発売しました。麦とホップだけで実現する味わいにこだわり「プラチナモルト(注1)」「プラチナホップ(注2)」を一部使用することで実現した、驚くほどクリアな爽快感が楽しめます。

「麦とホップ」ブランドは、コク系「麦とホップ The gold」に、爽快系「麦とホップ プラチナクリア」をラインナップに加えることで、より一層ご満足いただける商品を提供します。

(注1)クリアでキレイのある味わいに寄与する、窒素分の少ない麦芽
(注2)爽快さを際立たせる渋み成分が少ない良質なホップ



「ウメカク」ブランド 新しい梅酒のスタイル 売れ行き好調!

2015年9月から発売している「ウメカク 果実仕立ての梅酒カクテル」シリーズは、「梅酒カクテル」という新しい梅酒のRTS(注1)で、カラフルな色合いと濃い味わいを若年女性層中心にご評価いただき、計画比160%と大きく伸ばしています。

ソーダ割りやロックの他、ヨーグルトと混ぜる等、自由自在なアレンジでお楽しみいただいております。

10月には、同ブランドからRTD(注2)の「ウメカク ソーダ仕立ての梅酒カクテル」も発売し、さらにウメカクの魅力をお伝えしてまいります。

(注1) Ready to Serveの略。氷やソーダなどで割るだけで楽しめるお酒。
(注2) Ready to Drinkの略。購入・開栓後そのまま飲む缶やびん入りの低アルコール飲料。



各賞受賞
続々!

「サッポロ ホワイトベルグ」



ヨーロッパで最も権威のある15の調理師協会および国際ソムリエ協会(ASI)に属する著名なシェフやソムリエが評価!

洗練された華やかな香りと爽やかな味わいの「サッポロ ホワイトベルグ」は、iTQi(注)が実施する世界的な食品コンクールにおいて、最高ランク『優秀味覚賞 三ツ星』を受賞、合わせて3年連続『優秀味覚賞 三ツ星』を受賞した製品に与えられる『クリスタル味覚賞』を受賞しました。(注)国際味覚審査機構、本部:ベルギー・ブリュッセル

iTQiの最高ランク
「優秀味覚賞 三ツ星」
3年連続受賞で与えられる
「クリスタル味覚賞」

「グランポレール」



銀賞
グランポレール
安曇野池田
ヴィンヤード
メリタージュ
2013

銅賞
グランポレール
甲州
(モンストワール)
1999
*これを含め計
9アイテムが
銅賞を受賞

国際ワイン・アンド・スピリッツ・コンペティション 2016
「銀賞」および「銅賞」

日本ワインで最多の受賞数の快挙!

5月にロンドンで開催された、世界的なコンクールにおいて、「グランポレール 安曇野池田ヴィンヤードメリタージュ2013」が銀賞を、他9アイテムで銅賞を受賞しました!日本ワインでは最多の受賞数で、グランポレールの高い品質が評価された結果と言えます。国内外ますます人気と注目の高まる日本ワインの今後にご期待ください。

「シャンパーニュ テタンジェ ブリュット レゼルヴ」



“SAKURA” Japan Women's Wine Award 2016
「ダイヤモンドトロフィー」

ワインのスペシャリストに認められたトップシャンパーニュ!



審査員が全員女性の、日本最大のワインの審査会で、シャンパーニュ テタンジェ ブリュット レゼルヴが特に優れたワインに贈られる素晴らしい賞を獲得! 2016年は総エントリー数の約1%しか受賞していない貴重な賞です。

「SAPPORO PREMIUM BEER」台湾全土で販売開始



サッポロインターナショナルは、6月より「SAPPORO PREMIUM BEER (サッポロプレミアムビール)」を台湾全域で販売開始しました。日本を除く世界各地で展開している“グローバルデザイン”^(注)を採用。テレビドラマや映画で活躍し現在台湾で最も人気のある俳優の一人である、王陽明氏をイメージキャラクターとして採用し、「本物の味を知る、クールな大人が飲むプレミアムビール」を訴求。CMやインターネットメディア等を通じ、さらなる商品の認知度向上を目指します。

（注）グローバルデザイン
サッポロのシンボル「☆」のまわりにビールの原材料である大麥とホップを配したデザイン。日本国外向け製品で使用。



米国におけるM&A — 果汁100%シャーベット事業を取得 —



昨年、グループ企業に加わったカントリーピュアフーズ（以下、CPF）は、米国業務用シャーベット製造会社であるリッジフィールズ・ブランド・コーポレーション（以下、RBC）のシャーベット事業を取得しました。

RBCは、米国農務省の栄養摂取基準に沿った学校給食向けのシャーベット商品を強みとし、売上高は昨年までの4年間で約2倍の急成長を遂げています。CPFが主力事業の一つとする教育機関向けのビジネスとのシナジー最大化を図ることで、学校給食市場のシェア拡大を目指します。



RBC商品

広島県とのパートナーシップ協定の一環として 農協や行政と新たなアライアンス

ポッカサッポロは国内最大のレモン生産地である広島県と“瀬戸内 広島レモン”の需要拡大などの分野で、2013年よりパートナーシップ協定を締結していますが、この連携の一環として本年4月21日、新たに、「広島ゆたか農業協同組合」と“大長レモン”等の振興などに関する業務提携、「広島県豊田郡大崎上島町」と“瀬戸内産レモン”の振興などに関する包括協定をそれぞれ締結しました。



左から広島ゆたか農業協同組合・横本代表理事組合長、ポッカサッポロ國廣社長、広島県豊田郡大崎上島町・高田町長

国内のレモンに関する拠点作りと 新しい価値発信を目指します

国産レモン生産量No.1を誇る広島県の中でも、特に生産量の多いエリアを持つ「広島ゆたか農業協同組合」との業務提携は、“大長レモン”の振興およびブランド価値向上に向けた“大長レモン”の広範な活用により、両者の果実関連事業を拡大し、生産者の側面的支援を協力して推進することを目的としています。また、「広島ゆたか農業協同組合」の管轄エリアにある「広島県豊田郡大崎上島」とは、“瀬戸内産レモン”の生産量および需要量の拡大、さらにブランド化に向けた研究等に資する取り組みを行うことを目的に、大崎上島町の「レモンの島」構想の推進に関すること、災害時の食料応援に関することなどを連携していきます。

ご愛顧をいただき20周年!! 「じっくりコトコト」ブランド

「じっくりコトコト」ブランドは、1996年に発売して以来、“大人が満足できる、ちょっと贅沢なスープ”として、お客様にご支持をいただけてきました。



今回の20周年を機に、新たに「UPGRADE YOUR LIFE」をブランドメッセージとして掲げ、お客様の毎日をUPGRADEする濃厚とろ〜りなコク深スープとして、さらなるおいしさを追求していきます。

競争の激しい食品業界の中で、1つのブランドが20年間存続し、お客様から愛され続けているということは大変ありがたいことです。今から20年後、世の中がどう変化しているのか、想像すら難しいですが、そんな20年後の食卓にも、やはり『じっくりコトコト』が在り、スープを通じてお客様のひとときに彩りを与え続けている。そんな未来を創るため、これから1年1年を積み重ねていきたいと思えます。

ブランド担当：
ポッカサッポロフード&ビバレッジ
マーケティング本部 商品戦略統括部
スープ戦略グループ

小川 東吾



2016年9月24日 開業

「銀座ライオン」歴史ある大型基幹店舗「GINZA PLACE店(旧銀座五丁目店)」&「新橋店」待望のリニューアルオープン

名古屋ビール園 浩養園の地ビールを提供する新業態「CRAFT BEER KOYOEN」なども好調

サッポロライオンは、入居ビル建替えに伴い長期休業していたコアブランド「銀座ライオン」の「新橋店」と「GINZA PLACE店(旧銀座五丁目店)」を、約2年半の歳月を経て、本年夏に装いも新たにリニューアルオープンしました。長い歴史のある両店の再開を心待ちにされていた方のみならず、これまで「銀座ライオン」を利用されたことのない方まで、多くのお客様にご来店いただいています。

また本年は名古屋ビール園「浩養園」の地ビールを提供する新業態「CRAFT BEER KOYOEN」を名古屋駅前に開店した他、「銀座ライオン」を吉祥寺(東京)と博多(福岡)に、「エビスバー」を川崎(神奈川)と関西国際空港(大阪)に、そして旭山動物園(北海道)に初の動物園内出店をするなど、積極的に店舗展開しました。



銀座ライオン GINZA PLACE店



銀座ライオン 新橋店



CRAFT BEER KOYOEN KITTE 名古屋店

グループ
基盤整備

北海道の2社を子会社化 北海道シナジーのさらなる強化と和食事業の成長をめざして

サッポロライオンは、2016年6月1日に、北海道札幌市を中心に和食業態の飲食店を展開している「マルシンカワムラ」と、水産品の加工および販売を生業としている「銀鱈水産」を子会社としました。マルシンカワムラ保有の和食ブランドのノウハウを共有・融合し、より強固なブランドを育て展開していくことで和食事業を成長させたいと考えています。また、今回の2社と「ニュー三幸」とともに、サッポログループ創業の地のひとつである北海道での「ビヤホール文化」のさらなる発展を目指します。



札幌銀鱈 札幌ステラプレイス店

「GINZA PLACE」明日の銀座を創るランドマーク



▶▶▶ ginzaplace.jp

～コンセプトは「発信と交流の拠点」～

「GINZA PLACE(銀座プレイス)」は、日本を代表する商業地「銀座」の中心、銀座四丁目交差点の一角に、本年9月24日(土)、「発信と交流の拠点」をコンセプトに誕生します。「銀座」は、伝統や品格を大切にしている街であり、文化への関心が高く、上質で本物志向の大人が自分らしい価値を求めて集う街です。また、常に新しい時代のニーズやトレンドを取り込みながら進化し続ける街でもあります。

「GINZA PLACE」は、様々な体験と交流を通じて、訪れる方々に銀座に相応しい新しい価値や、最上質・最先端の「モノ」「コト」を提案し、ここから東京、そして日本の魅力を世界に発信していきます。サッポログループにとってゆかりの深い銀座の街のさらなる活性化と賑わいの創出に貢献する施設として、『明日の銀座を創るランドマーク』となることを目指していきます。

フロアご案内



施設3階には、施設コンセプトを最も具現化するイベントスペース&カフェ「common ginza(コモンギンザ)」がオープンします。自主企画イベントのほか、国内外に向けて新しいライフスタイルや価値観をはじめとした情報発信スペースとして活用するなど様々な展開が可能です。なお、イベント開催がない時はカフェとしても営業いたします。8月3日に先行オープンした銀座ライオン、日本の最先端技術を体験できるショールームや美食のレストランなど、個性的で魅力溢れるフロア構成となっています。

サッポロ不動産開発 アセットマネジメント事業本部
銀座開発部長

吉田 安廣



第92回 定時株主総会 のご報告



2016年3月30日(水)、第92回定時株主総会を開催いたしました。ご出席いただきました株主様におかれましては、この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。質疑応答では、11名の株主様よりご質問をいただきました。ここでは、主な質疑内容をご紹介します。今後もより多くの株主の皆様にご理解をいただけるよう努めてまいります。

株主総会の実施状況



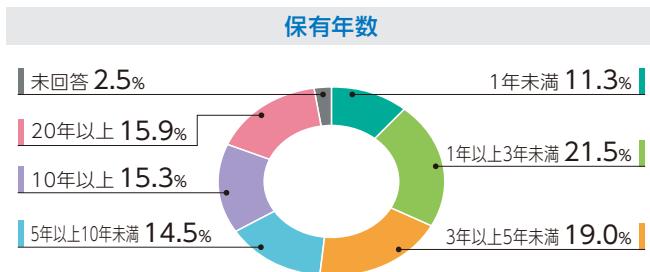
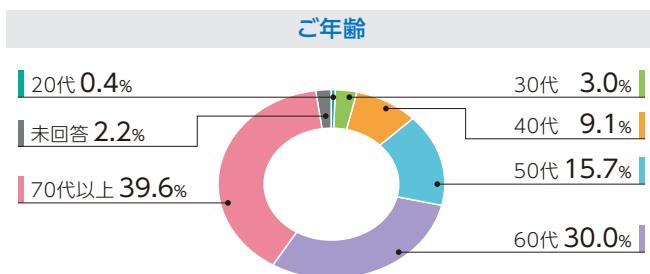
■ 主な質疑内容

議案に関するご質問	■ 株式併合について
経営に関するご質問	■ 経営目標について ■ 店舗運営について
営業政策に関するご質問	■ 商品について ■ 営業体制について
国際展開に関するご質問	■ 事業について ■ 商品について
その他	■ 応援メッセージ

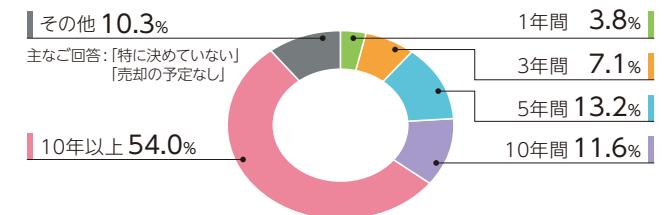
株主アンケートの ご報告

本年の株主アンケートでは、総計8,646通ものご回答をいただきました。ご協力誠にありがとうございました。株主の皆様からの貴重なご意見・ご要望をもとに、今後のIR・SR活動のさらなる充実に向け取り組んでまいります。

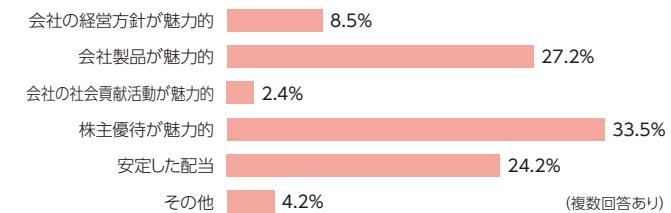
ご回答者様データ



保有期間はどのくらいの期間をご予定されていますか



長期保有をお考えになるのはどのような場合ですか



株式市場

プロの線!

証券アナリストや ファンドマネージャーなどの株式市場のプロたちから受けた代表的な質問と当社回答の一部をご紹介します。

Q 今年に入って急激な円高が進みました。決算に与える為替変動の影響はどのようなものがありますか?

弊社の場合、海外での売上は基本的に現地生産となり輸出は多くありません。したがって、円高によって海外での売上そのものが落ちることはほとんどありません。

影響があるのは、海外子会社の売上高や利益を円に換算したときに目減りしてしまうことです。一方で、ビールや飲料水の原料は輸入しているものも多く、円高で原料が割安に手に入るメリットがあります。このようにプラスとマイナスの影響がありますが、相殺すると円高は売上にはマイナス、利益にはややプラスの影響があると考えています。

株主様の声

サッポロホールディングス関連
株主優待を長く続けて欲しい

当社では、株主の皆様の日頃のご支援に少しでもお応えし、またサッポログループの商品をさらに身近に感じていただくため、株主優待を実施しています。サッポログループを長期にわたってご支援いただけるよう、株主優待を継続していきます。



サッポロホールディングス株式会社 取締役経営管理部長 征矢 真一

株主様の声

サッポロビール関連
魅力のある商品の開発を期待します

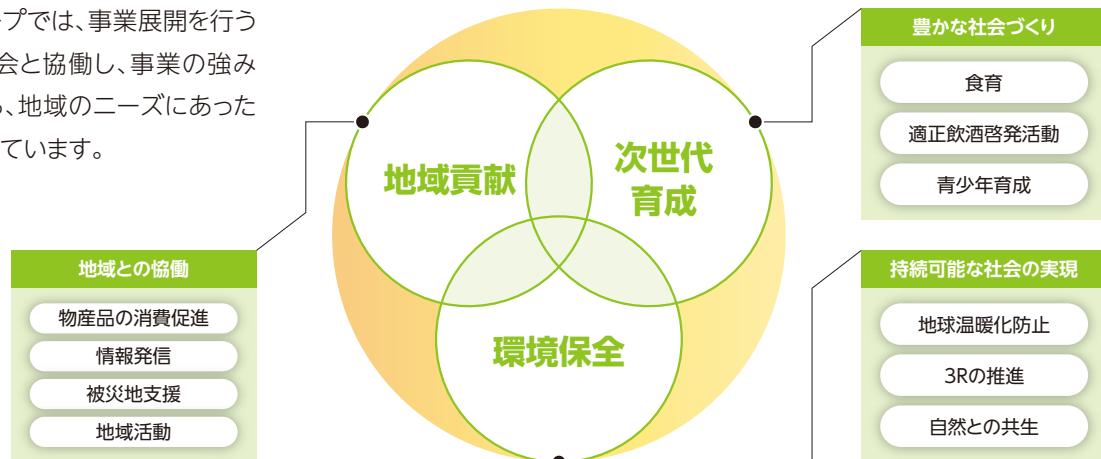
サッポロビールは、「オンリーワンを積み重ね、No.1へ」のビジョンのもと、サッポロ独自の強みを発揮する各種ビールブランドへの積極的な取り組みを行い、売上増を目指します。また、ノンアルコールビールテイスト飲料で初のトクホ商品「SAPPORO+」など、お客様の多様化するニーズに対応するためのオンリーワン商品を開発、育成することも進めております。ぜひ、今後の新商品にご期待ください。



サッポロビール株式会社 代表取締役社長 尾賀 真城

サッポロの地域・社会貢献活動

サッポログループでは、事業展開を行う国や地域の社会と協働し、事業の強みを活かしながら、地域のニーズにあった取り組みを行っています。



地域貢献(地域との協働)

東北復興支援を継続

株主優待制度を通じた支援

株主様からの寄付金に当社から同額を加えた寄付金(総額351万4,000円)を、東北の復興を担う子どもたちへの教育に関する次の3つの取り組みに活用します。6月28日に、岩手県大船渡市へ市の花“樺”をテーマとした学習支援に70万円、岩手県大槌町へ小中一貫教育の柱として行われる“ふるさと科”学習支援に80万円を寄付しました。秋以降に福島県の吹奏楽・合唱連盟への寄付を実施する予定です。



左から上條社長、大船渡市戸田市長 左から大槌町平野町長、上條社長

東北復興応援ツアー開催

グループ社員を対象に、東北の復興を応援するツアーを開催しています。6回目となる2016年5月のツアーでは、宮城県気仙沼市を訪問しました。復興していく町の視察や、支援等でご縁のできた地域や団体の訪問、産業の中心である漁業についてのレクチャー受講等、地元の方々との貴重なコミュニケーションの場ともなりました。また、物産品の消費促進のために、気仙沼の名産品の購入なども積極的に行いました。



宮城県唐桑半島ビジネスセンター前にて集合写真

熊本地震に対する支援

国内外のグループ従業員の募金の寄付

4月14日に発生した熊本地震の被災地支援として、グループ会社の従業員を対象に募金活動を実施しました。日本全国の事業場から206万7,882円の募金が集まり、熊本県、ならびに大分県に寄付しました。グループ内では、大分県日田市にある九州日田工場の見学施設「ウェルカム館」や、創業の地・北海道のピヤホール「サッポロビール園」等で、ご来場のお客様を対象とした募金箱を設置、またサッポロベトナム社でも、現地従業員労働組合が自発的に募金活動を行うなど、日本国内だけでなく海を越えた遠方の社員へも支援の輪が広がりました。



従業員募金贈呈式 左から平町顧問、熊本県池田総務部長



上條社長から感謝状を受け取るサッポロベトナム社の労働組合委員長

次世代育成(豊かな社会づくり)

銀座ライオンの店舗で職場体験

サッポロライオンでは、地域の中学生、高校生を中心とした職場体験学習を受け入れ、次世代を担う子どもたちの育成支援を行っています。生徒たちは調理の補助等レストランでの幅広い業務を体験し、職業観を育み、働くことの意義を学びました。



銀座ライオン アト恵比寿店

環境保全(持続可能な社会の実現)

サッポロビール北海道工場 第37回食品産業優良企業等表彰環境部門

『農林水産大臣賞』を受賞

サッポロビール北海道工場では、最新の省エネルギー設備の導入と共に工場内全部門による省エネルギー委員会を中心とした活動を継続して行っています。この取り組みが高く評価され、第37回食品産業優良企業等表彰環境部門で「農林水産大臣賞」を受賞しました。



3月の授賞式の様子

R&D新体制

「食品価値創造企業」
としての成長を加速する **「グループR&D本部」を新設**

サッポロホールディングスはグループR&D本部を新設し、傘下にグループ研究の中核として価値創造フロンティア研究所を設立しました。2014年より進めてきたグループ横断型の研究開発体制「サッポロイノベーションラボ」を発展させ、「新規事業開発につながる中長期視点での基盤研究の推進」「グループシナジーを活かした、コア技術の深化と価値化の加速」「分析機能の集約、高度化による品質保証や知財対応力強化」に取り組みます。「食品価値創造企業」としてのさらなる成長を加速させてまいります。



サッポロビール **「2015年度日本育種学会賞」を受賞**

サッポロビールは「リポキシゲナーゼ欠失ビール大麦(注)育成グループ」の中核メンバーとして、2015年度日本育種学会賞を受賞しました。

同賞は「育種に関する研究において注目すべき業績をあげた会員に授与」されるもので、1953年から続く権威ある賞です。今後も、国内外の他企業や大学と連携しながらビール原料に関する育種・研究開発力を磨き、魅力ある商品展開に活かしていきます。



授賞式にて
バイオ研究開発部
大串部長(右)

(注) LOXレス大麦
“旨さ長持ち麦芽”としてビール原料の一部使用

受賞論文
表題

リポキシゲナーゼ欠失変異
を利用した高品質ビール
オオムギ品種の育成

受賞
グループ

リポキシゲナーゼ欠失ビール大麦育成グループ

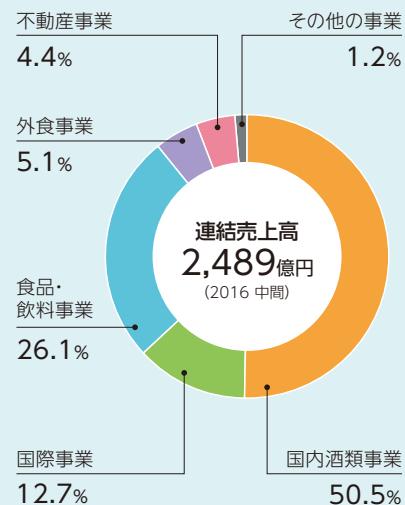
- サッポロビール株式会社
- 岡山大学
- サスカチュワン大学(カナダ)
- アデレード大学(オーストラリア)

ポッカサッポロ **レモン果汁飲料の継続摂取による骨の健康に関する効果を確認**

ポッカサッポロは、広島県立安芸津病院、県立広島大学と「レモン」の機能性をテーマに共同研究に取り組んでいます。その成果として、カルシウムを含むレモン果汁飲料の継続摂取による骨密度の改善効果を確認しました(4月共同発表)。骨粗しょう症予防の一助になることが期待され、さらなる研究を進行させています。



■ セグメント別売上高構成比



■ セグメント別売上高

	前中間	当中間	増減率
国内酒類事業	1,216億円	1,257億円	+3.4%
国際事業	347億円	316億円	△9.1%
食品・飲料事業	639億円	649億円	+1.7%
外食事業	128億円	126億円	△1.4%
不動産事業	98億円	109億円	+11.0%

■ 連結財務ハイライト (億円)

	2014		2015		2016	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末(予想)
売上高	2,398	5,187	2,458	5,457	2,489	5,654
営業利益	10	147	△12	163	30	211
経常利益	2	145	△14	152	26	202
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	△109	3	11	80	4	105
総資産	6,032	6,254	6,211	6,203	5,948	—
純資産	1,423	1,600	1,619	1,638	1,513	—
自己資本比率(%)	23.0	25.0	25.1	25.5	24.6	—

詳細は当社ホームページをご覧ください。

サッポロ IR

検索

■ 会社概要

商号	サッポロホールディングス株式会社 (英文 SAPPORO HOLDINGS LIMITED)
設立	1949年9月1日(創業明治9年)
資本金	53,886,649,941円
事業内容	持株会社
連結対象会社数	57社(連結子会社55社、持分法適用会社2社)
本社	〒150-8522 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番1号 (恵比寿ガーデンプレイス内)

■ 株式の状況

発行済株式の総数 … 393,971,493株
株主数 …………… 50,026名

■ 大株主 (上位10名及びその状況)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	23,408	6.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	14,813	3.80
資産管理サービス信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ信託銀行口	12,212	3.13
日本生命保険相互会社	11,146	2.86
明治安田生命保険相互会社	10,434	2.67
農林中央金庫	9,375	2.40
株式会社みずほ銀行	9,032	2.32
丸紅株式会社	8,246	2.11
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	7,970	2.04
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	7,100	1.82

※持株比率は自己株式(3,705,066株)を控除して計算しています。

■ 所有者別株式分布状況



■ 役員 (取締役・監査役・グループ執行役員)

代表取締役社長兼 グループCEO	上條 努	常勤監査役	尾崎 聖治
常務取締役	渡 淳二	監査役	関 哲夫
常務取締役兼 グループ執行役員	溝上 俊男	監査役(社外)	佐藤 順哉
取締役	野瀬 裕之	監査役(社外)	杉江 和男
取締役	征矢 真一	グループ執行役員	尾賀 真城
取締役	福原 真弓	グループ執行役員	國廣 喜和武
取締役(社外)	服部 重彦	グループ執行役員	刀根 義明
取締役(社外)	池田 輝彦	グループ執行役員	生駒 俊行
取締役(社外)	鶴澤 静	グループ執行役員	立山 正行
		グループ執行役員	岸 裕文

■ IRサイトのご案内

当社ホームページではIR情報や決算情報をはじめとした情報開示を行っております。



▶▶ <http://www.sapporoholdings.jp/ir/>

株式併合・単元株式数の変更に関するご案内

適切な投資単位水準への調整を目的として、2016年7月1日をもって当社普通株式5株を1株に併合し、単元株式数の変更(1,000株から100株に引き下げ)を実施いたしました。なお、株主の皆様におかれましては、特段のお手続きは必要ありませんので、念のため申し添えます。

■ 単元株式数の変更 (2016年7月1日~)

1,000株 ▶ 100株

株主優待制度の変更に関するご案内

上記に記載のとおり、2016年7月1日をもって株式併合及び単元株式数の変更を実施したことに伴い、現行の株主優待制度を変更いたしました。変更後の株主優待制度の概要は以下のとおりです。

■ 実施時期

2016年12月31日を基準日とする株主名簿に記載または記録された株主の皆様より、変更を実施いたします。

■ 株主優待のお申込み等に関するご案内

2017年3月上旬発送予定の定時株主総会招集ご通知に同封いたします。

■ 優待内容

保有株式数 ※株式併合後の保有株式数	優待内容 ①~③のいずれかを選択
100株~ 200株未満保有	① 缶ビール350ml缶×4本 ② 食品・飲料水セット(1,000円相当) ③ 社会貢献活動への寄付
200株~ 1,000株未満保有	① 缶ビール350ml缶×8本 ② 食品・飲料水セット(2,000円相当) ③ 社会貢献活動への寄付
1,000株以上保有	① 缶ビール350ml缶×12本 ② 食品・飲料水セット(3,000円相当) ③ 社会貢献活動への寄付

※上記とは別に、200株以上保有の株主様に、サッポロライオンチェーン等の優待割引券(5枚)を進呈いたします。

200株~1,000株未満の優待品例



① 缶ビール350ml缶×8本



② 食品・飲料水セット(2,000円相当)